

# 未来への構想 南科のビジョン

南科管理局は「産業集積の継続的な発展」「持続可能な発展を目指す環境づくり」「文化芸術の推進」を南科発展の三大方針としており、産業と文化が共存するテクノロジーパークの良き手本でありたいと願っています。

## 産業集積の継続的な発展

### グリーンエネルギー産業集積の強化 低炭素生産を奨励

南科管理局は2013年から「低炭素」関連の技術開発に対する補助制度を導入します。これは、入居企業によるエコ製品の開発やエコ製品を生産する企業の南科進出を促すとともに、優れたエコ製品に対する助成や人材育成、そしてIP、ベンチャーキャピタル、公的資金、製品認証などに関する様々な情報提供や紹介によって園区のグリーンエネルギー産業全体の技術水準と競争力の底上げを図ろうというものです。

### マーケティングの 国際化 研究成果の 製品化

南部生技医療器材産業集落発展計画の第二期計画（2013 - 2016年）は、以下の二つの方針に従って推進します。まずは第一期計画を通じて形成された医療機材産業集積の強化。製品開発や不足技術の補完を目的とした産学協同を奨励します。また、海外でのマーケティングや製品発売までのリードタイムの短縮など、企業側が必要としている認証やマーケティング面での支援を行います。もう一つは臨床現場の具体的なニーズを掘り起こし、新たな産業創出の環境を整えることで、産業界、学術機関、医療現場に新技術や試作品の開発を奨励しようというものです。



### 園区の産業モデルを転換 外国企業の誘致を強化

「効率駆動」から「創新駆動」への産業モデルの転換を図るという国家科学委員会の構想に従い、南科では「ハイリスク・ハイリターン」型のベンチャー事業にも積極的に取り組んでいきます。起業を奨励し、高い潜在能力を有する者にはその研究成果や技術を発揮するのにふさわしい場を与え、具体的な商品化に向けた機会も提供します。

また、国家科学委員会の在外機関とも協力の上、アメリカ、カナダ、日本、ロシアなどの有望企業に関する情報を収集し、共同でこれら企業の誘致を行います。



## 持続可能な発展を目指す 環境づくり

### 「永続環境緑色園区」 南科が掲げる不変の理念

台南園区における自転車専用道の第二期工事実施、街灯の LED 化の推進とともに、2013 年は高雄園区でも企業所有の工場によるグリーン建築認証の取得第一号の誕生を目指しています。

また「永続環境」の約束を実現するため、南科では水資源利用の多元化を進めるとともに、水需給に関する長期予測、水の再利用、放流水の浄化などを通じて省エネ、節水の目標を達成します。

### CSR の普及を推進 南科に「責任ある経営」の文化を

南科管理局は自らの経験に基づき、入居企業による CSR 報告書作成をサポートしています。社会面、経済面、環境面の 3 つの側面から各社の経営情報を開示することで、双方のコミュニケーションの共通の土台を築くとともに、南科に対する理解を深めてもらい、「社会的責任を果たす経営」という約束を具体的な形で示すことにもなります。

### 工安白書を改善の原動力に 働く人にやさしい環境づくり

園区の全ての就業者が安全かつ健康的な環境で働けるよう、南科管理局は 5 年間（2013 - 2017 年）の中期目標として以下の四項目を挙げています。まず「安全減災 201」については、重大な労災事故による死亡率を 100 万分の 20 以下に維持し、通勤中の交通事故による死者数を年間 1 人まで減らすこと。「照護精進 295」については、福利厚生制度の普及率を 95%まで引き上げる



こと。そして、園内の事業者の 95%が「優良工安単位（人員）」に認定されることを目指します。

### バス路線の拡充 通勤を便利に

市内と園区を結ぶ直通バスおよび連絡バスの増ルート、増便について台南市、高雄市の交通局と協議します。また、高速鉄道駅と園区を結ぶバス路線の開設に向けて高鉄側とも協力していきます。

## 文化芸術の推進

### 南科の「三宝」—— 人文、芸術、テクノロジー

台南園区では南科の「老城區（旧市街）」を対象としたアートプロジェクトや公共建築および企業所有の工場の「公共芸術」化、そして各種文化イベントの計画立案を推進します。また、園区全体の芸術化という目標に向けて史前博物館南科館とも連携します。高雄園区では第一期の公共芸術作品設置事業を 2013 年にスタート。三期にわたる公共芸術の設置により「fu（フィーリング）、fun、future」の三拍子揃った「テクノロジーと芸術の町」の建設を進めていきます。